

5月8日、和泉都議とともに立石商店街の調査活動に参加した
民商事務局長の小林智子さんから感想が寄せられました。

立石商店街 訪問調査活動に参加して



葛飾民主商工会事務局長

小林 智子

今回の和泉都議の商店街訪問調査活動はとても時宜にかなった大事なとりくみだと思ひ、私も参加させてもらいました。

私はいままでも、たびたび商店訪問活動はやってきましたけれど、これまでなら話しかけても「うちはおよつと」とか「いま仕組み中だから」などといわれることが多かったのですけれど今回は違いました。「よく

来てくれた」という感じで、むこうから

「どうなっちゃうの、私たちに営業自粛といいながら、一方ではオリンピックはやるなんて矛盾している」

など、どんどん話が出てくるのです。

飲食店はお酒を出せないのが多いのですけれど、それでもお店を開きたい、お店に空気を入れたい、お客さんと話したい、そういう気持ちでピンピン伝わってきました。

苦しみは飲み屋さんだけではない。ラーメン店はビールが出ないので餃子が売れない。ブティックは「不要不急の外出はひかえて」というのが効いてやはり売れない。美容関係はもともと人の肌にもよる仕事だから気をつかってくるのに、

お店もお客さんもストレスでいっぱいという感じで

小さいお店を守り政治をした。

私が訪問したお店で、1月8日から2月7日までの時短要請に対する協力金が、まだ出ていないお店がありました。おそすぎますよ。これでは政府がコロナを利用してこの際、小さいところはつぶれた方がいい、といっているようなものです。

小さいお店にとっては手続きも大変です。政府の一時支援金の申請は全部オンラインでなければだめ、お店の事前確認登録ができないとつぎにすすめない。区商工会とか民商など団体に入っている人はできるけれど、個人で自分だけで商売をやっている人にはたいへんなのです。コロナ禍でこういうかたちで中小業者の分断がすすんでいるのが現実です。

日本の経済の底辺をささえてきた小さなお店を守るのが政治ですよ。都議選でなんとしても和泉さんを勝たせねば、と思います。

なおみのさわやかエッセー



昔住んだ家の記憶

中学3年から、高校3年の途中まで住んでいた借家のことを、いまでも懐かしく思い出すことがあります。父が会社から借りていた、古い日本家屋で、とても広い庭があり、たくさんの木が植えてありました。春には、玄関脇の竹垣の裏から、沈丁花の花の香りが家の中に入ってきます。夏には、その竹垣の表側に、てっせんの花が咲き、縁側の沓脱石の隣の百日紅の赤い花が鮮やかでした。栗やクルミ、ビワの木に実がなり、冬には、何本も植えてある椿が、様々な色の花を咲かせます。ちゃんと手入れをすれば、とても素敵な庭だったのだと思います。

平屋建ての家は、とても古く、1978年の宮城県沖地震で雨漏りがするようになりました。父は、事業に失敗した後、会社勤めに戻ったので、電気やガスが止められることはありませんでした。しかし、おそらく雨

の中で屋根にブルーシートをかけた経験など今までなかっであらう、お坊ちゃん育ちの父のその姿が、なんだかとても悔しかったのを覚えています。

あの家は、今どうなっているのだろう？
今度、仙台に帰れたら、訪ねてみたい
と思っています。



和泉なおみの幹事長日誌



- 5月7日 金 連絡調整本部会議
- 5月13日 木 臨時議会の開催を求める要請(6会派)
- 5月15日 土 前衛インタビュー(7月号掲載)
- 5月16日 日 葛飾地区 党と後援会決起集会
- 5月16日 日 日本政治法律学会「明日の東京と日本を考える大討論会」
- 5月18日 火 第二回定例会提出案件の幹事長説明
- 5月20日 木 会期についての4会派打合せ
- 5月20日 木 議長と議運委員長に「会期延長を求める申し入れ」(6会派)
- 5月23日 日 女性のつどい
- 5月24日 月 都政対策委員会(都委員会)
- 5月25日 火 議運理事会・委員会
- 会期に反対の幹事長コメント作成・執行
- 5月27日 木 日経新聞取材
- 緊急事態宣言の再延長に当たり専決処分しないことを求めて要請(6会派)
- 5月28日 金 連絡調整本部会議
- 5月31日 月 専決処分に抗議(6会派)
- 6月1日 火 都議会第二回定例会開会
- 6月4日 金 議運理事会・委員会



日本共産党都議会議員

和泉なおみの

生活・年金・法律相談

2021年7月14日(水)午後2時より

事前にお電話ください

場所 和泉なおみ事務所